

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西地区小中一貫校施設改修工事(材)	階数	地上4F
建設地	大阪府豊能郡豊能町東ときわ台	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	197人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,086時間/年(想定値)
建物用途	学校,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年8月13日
敷地面積	24,452 m ²	作成者	都市環境設計 杉浦
建築面積	1,074 m ²	確認日	2024年8月13日
延床面積	2,627 m ²	確認者	都市環境設計 大久保



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 88%
③上記+②以外の 88%
④上記+ 88%

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	既設中学校校舎の一部を撤去し、増築することにより、給食調理場を備えた、義務教育学校とする。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
既設校舎のリフィニッシュに加え、増築部分に義務教育学校として、必要な室を標準的な室内環境にて整備する。	1階、及び2階でのみ接続されていた既設校舎(北棟・南棟)を増築部分で各フロアで接続し、増築部分にエレベーター、男子便所、女子便所、多目的便所を整備し、利用動線、バリアフリー性能を確保する。	義務教育学校とするため、低学年、高学年用の運動場を整備する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
増築部分について、外壁、屋根、窓の断熱性能の向上を図る。増築部分の設備システムの高効率化を図る。	現行の標準的な仕様とする。	校舎増築の敷地外への影響は、既設の中学校から、変わらないものとし、また新設する給食調理場は、敷地外への影響を考慮し、周辺住宅地に面さない、東側の近隣商業地域側へ配置する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	西地区小中一貫校施設改修工事(校舎増築)						
建設地	大阪府豊能郡豊能町東ときわ台						
用途/区分	学校(小中高) 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					5	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
④	エネルギー消費性能					4	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外		評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外		評価対象外		
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							